

がんの細胞は毎日生まれています。
 私たちの体は毎日、細胞をコピーして新たな細胞を作り出しています。しかし、健康な人であっても、コピーミスなどのでがんのもととなる細胞ができることがあります(ある学説によると1日5千個!)。がんのもとが発生すると、免疫細胞がすぐに退治しますが、まれに取り逃してしまうことがあります。これが増殖すると「がん」になるのです。

特集

あなたのがん知識、古いかも?

国民の2人に1人がかかる「がん」。その原因や予防法はどんどん新しくなっています。あなたの知識はもう古いかも?がん知識をここで確認してみましょう。
 正しい知識で対処すれば、「がん」は怖い病気ではありません。



保健センター
 健康管理課
 ☎ 2991 - 1811



「がん」は、まれに起こる病気でしょ?

2人に1人
 ってこと!?

日本人の「がん」はこんなに多い!

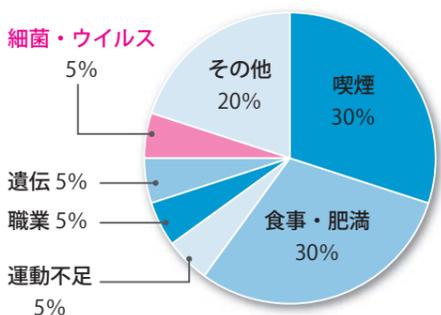
一生の間に「がん」になる確率 *1

約 **55%**

男性の 約 **63%** 女性の 約 **47%**



「がん」の原因 *3



細菌・ウイルスで「がん」になることがあります。
 たばこ、食事・肥満といった生活習慣は確かに大きな「がん」の原因です。しかし、細菌・ウイルスへの感染も「がん」の原因となることが分かっています。



まあ、若い人は大丈夫でしょ?

そもそも限りません。

高齢になると免疫機能が低下するため、高齢になるほど「がん」になる確率は高くなります。しかし、「若いから「がん」にならない」は間違いです。
 女性は30歳代後半、男性は40歳代後半から死因の1位が「がん」になります。「若いから大丈夫」とは言えないのです。



生活習慣をキチンとすればいいでしょ?

全死因のうちの「がん」の順位 *2

	男性	女性	全体
20 歳代	3 位	2 位	3 位
30 歳代	2 位	1 位	2 位
40 歳代	1 位	1 位	1 位
50 歳代	1 位	1 位	1 位
60 歳代	1 位	1 位	1 位

◆**肝がん(肝炎ウイルス)**
 肝がんのほとんどは肝炎ウイルスが原因です。研究が進み、例えばC型肝炎ウイルスは、内服薬でほぼ100%完治できるようになりました。
肝炎ウイルス検査を受けることで、肝がんリスクは大幅に下がります。

◆**胃がん(ピロリ菌)**
 ピロリ菌に感染すると胃がんになるリスクが高くなります。感染が疑われる場合は、専門医で除菌治療を受けましょう。
 ◆**子宮頸がん(ヒトパピローマウイルス)**
 20~30歳代の女性で発症することが多いウイルスです。ほとんど免疫で排出できますが、感染が持続する場合は危険です。子宮頸がん検診を受けましょう。

一生に **1** 回でOK!



肝炎ウイルス検査を受けてみよう!

不明な点は、お気軽に保健センター健康管理課にお問い合わせください。



病院で検査

◆検査の申込書を入力
 保健センター窓口、埼玉県庁(Q型肝炎ウイルス)で申込書を入力できます。

↓
 ◆埼玉県指定医療機関で受診
 埼玉県庁(Q型肝炎ウイルス)で医療機関を選びます。市内では約100施設で受けられます。



保健所で検査

狭山保健所 ☎ 2954 - 6212
 に電話予約して受診
 稲荷山公園駅から徒歩7分

検査は無料!

内容も、採血のみの簡単な検査です。

【出典・参考】 *1...国立がん研究センターがん情報サービス(平成24年) *2...厚生労働省「人口動態統計年報 主要統計表」(平成27年)
 *3...ハーバード大学がん研究センター(平成8年)